

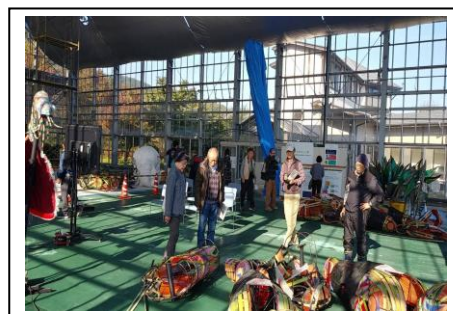
## 令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

|               |   |
|---------------|---|
| 事業名           | 東京 2020 巨大操り人形「モッコ」制作現場等見学会開催事業                       |
| 事業主体<br>(連絡先) | 高森町<br>(産業課 電話 0265-35-9405 (直通))                     |
| 事業区分          | 主となる区分 (3) 教育、文化の振興に関する事業<br>関連する区分 (1) 地域協働の推進に関する事業 |
| 事業タイプ         | ソフト・ハード   |
| 総事業費          | 1,859,000円 (うち支援金: 1,308,000円)                        |

### 事業内容

2020 東京オリンピック・パラリンピックの東北復興プログラムに登場する巨大操り人形モッコの制作が、当町の地で進められたので制作現場等の見学会を開催。

- ・見学会開催  
2019年10月19日から2020年2月23日にかけて計16回開催 見学延べ人数1,401人
- ・宣伝、展示、映像等記録編集 1式
- ・見学会会場環境整備 1式



【見学会の様子】

### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①見学会において当町と東北の繋がり、東北復興とモッコのストーリーなどを体系的に説明することにより見学者から高い関心が寄せられた。また東京オリパラの開催が楽しみになったとの声が多く寄せられた。
- ②制作スタッフの想いや熱意に触れることで、見学者の中には見学会後にボランティアとして制作に携わっていただく方も居ました。
- ③南信州地域に息づく人形劇等の伝統文化について知っていただく、再認識していただく機会となりました。今後のイベントを通じて公開された後には、次世代を中心に新たな文化創造の機運と担い手の醸成に繋がるものと実感しました。

### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ・モッコが制作された当町、または南信州地域と、モッコが旅立つ東北の皆さんとの地域間の新たな絆づくりを考えていきたい。
- ・当町で制作されたモッコが登場する世界的な一大イベント(オリパラの開催)を住民等に間近に感じていただけるとの取り組みを検討する。

### 【目標・ねらい】

- ①東北の復興、東京オリパラを身近に感じ想いを寄せ関心を高める
- ②見学者と制作スタッフとの交流等により担い手のやりがいを高めると共に、協働の大切さを実感する
- ③地域に継承される伝統文化の再認識と、地域の人間力と魅力の発信

※自己評価 【 A 】

### 【理由】

- ・当初見込み数をはるかに上回る見学者数となった。
- ・当町以外の見学者も多く関心の高さや期待の大きさを実感した。
- ・親子での見学者も多く、地域の伝統文化、協働の大切さ等を広い世代の方に知っていただき感じていただけた。